

第5回 球磨川流域治水協議会 説明資料

令和3年出水期までの取組について
(災害復旧状況)

令和3年6月2日

国土交通省 九州地方整備局
熊 本 県

堤防等の災害復旧状況(国管理区間)

1

- 国管理区間では、堤防決壊2箇所、護岸等の被災29箇所の災害復旧工事を実施。
- 堤防が決壊した2箇所については、令和3年5月末までに本復旧を完了した。

【位置図】



㉗堤防決壊箇所(球磨川右岸56.4k付近)

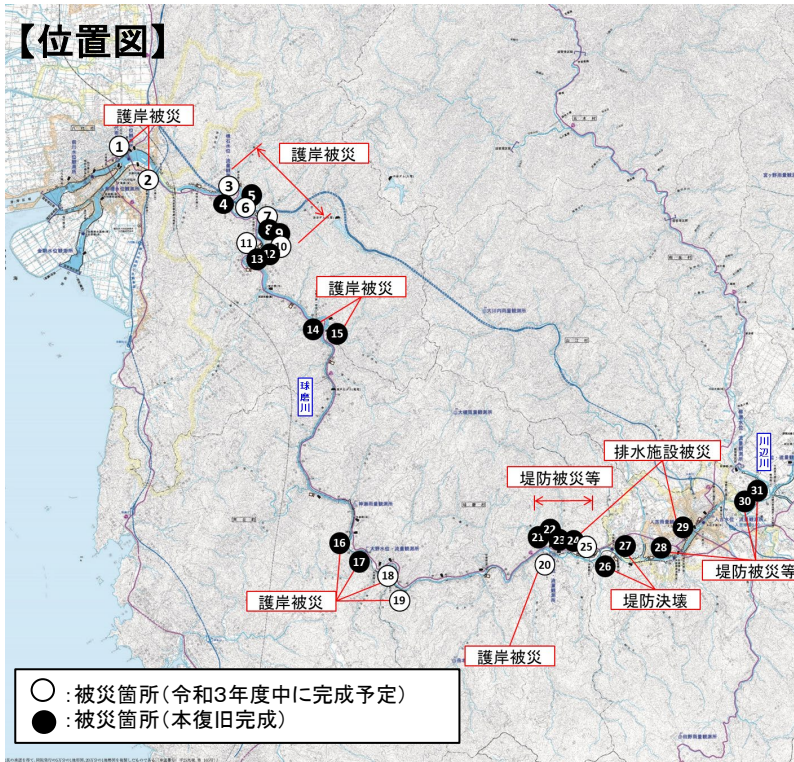


㉘堤防決壊箇所(球磨川左岸55.0k付近)



- 護岸等の被災箇所のうち、緊急性の高い18箇所の被災箇所については本復旧が概ね完了。
- 残りの箇所(高水敷の被災等)については応急復旧を完了し、令和3年度中に全29箇所の本復旧完了を目指す。

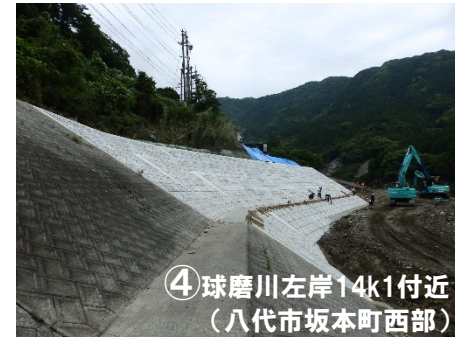
【位置図】



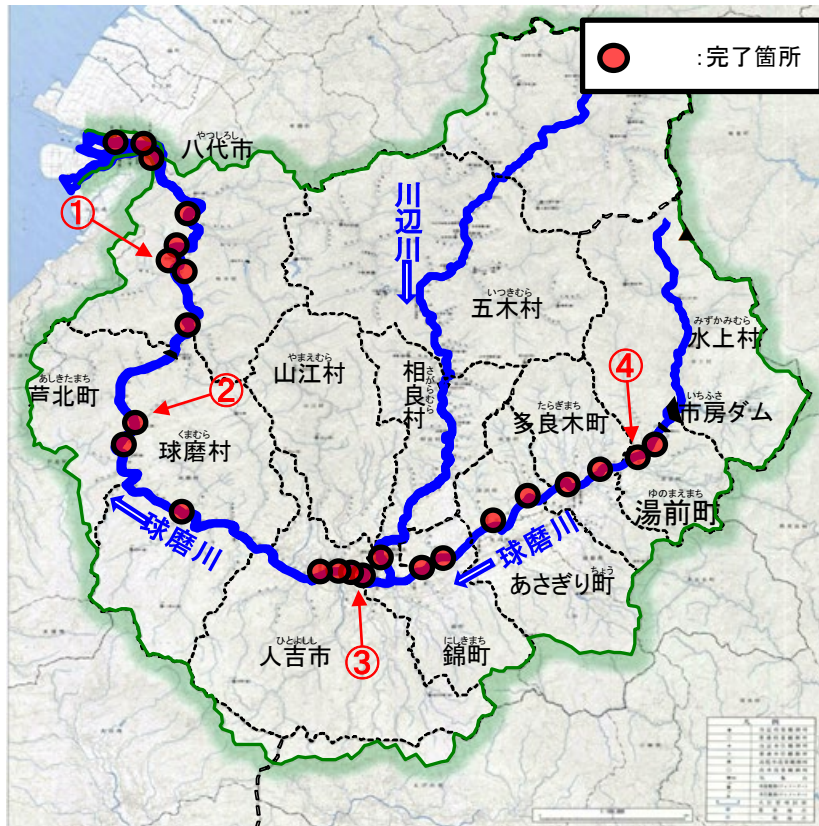
【被災状況】



【復旧状況】



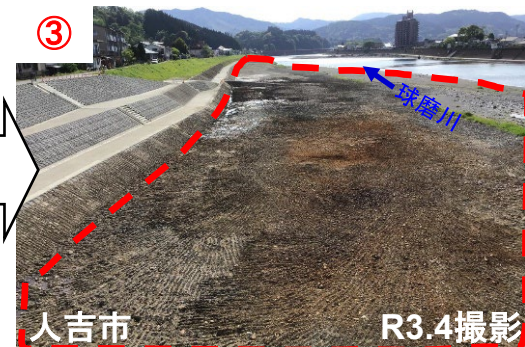
- 出水期前までに掘削を予定していた70万m³の掘削を、令和3年5月末までに完了。
- 引き続き、堆積土砂の掘削を推進。



【施工前状況】

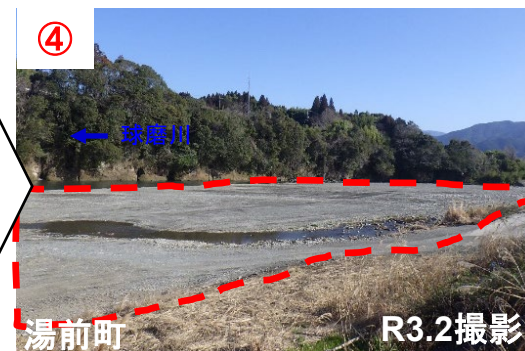
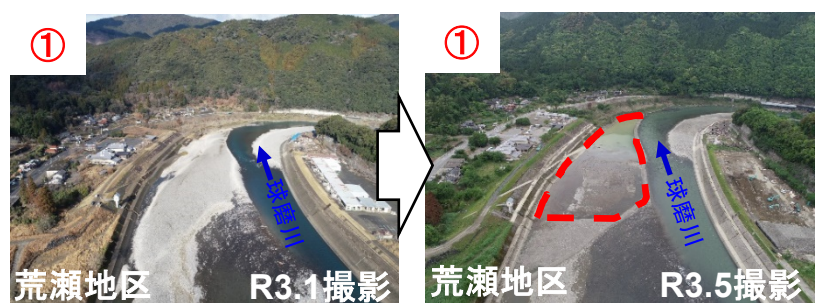


【施工後状況】



【施工前状況】

【施工後状況】



○権限代行9河川については、令和3年5月末までに約20万 m^3 の土砂掘削を完了。

○護岸等の被災施設の復旧については、約140箇所のうち、約90箇所に着手。残り約50箇所も含め、令和3年度中に全箇所の本復旧完成を目指す。

位置図



【施工前状況】



【施工後状況】



【施工後状況】



- 宅地かさ上げ等の盛土材として活用可能な掘削土については、一時的に仮置きを実施。
- 今後、仮置き土砂の土質試験等を実施し、宅地かさ上げ等へ活用予定。
- 仮置きにあたっては、安定勾配での法面整形や大型土のう設置等による土砂流出防止措置を行い、安全性を確保。

旧西部小学校グラウンド【仮置き】



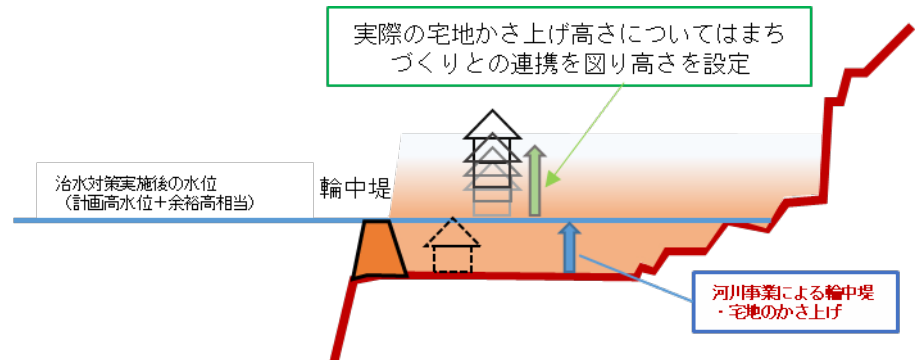
川辺川合流点【仮置き】



道の駅坂本 下流側【仮置き】



宅地かさ上げではまちづくり等と連携して集落全体をかさ上げするため、多量の土砂が必要となる。
→ 掘削で発生する土砂を最大限活用していく。



まちづくりと連携した輪中堤・宅地かさ上げイメージ